

松が谷高校の生徒の皆さんへ 一校長メッセージ（22）

令和四年度 第四十二回 東京都立松が谷高等学校 入学式式辞

色鮮やかな若葉が美しい季節を迎えた今日の佳き日、令和四年度東京都立松が谷高等学校第四十二回入学式を挙行できますことは、教職員一同この上ない喜びであり、心よりお慶び申し上げます。本校を代表し、深く感謝申し上げます。ご多用の中、ご臨席いただきました保護者の皆様、お子様のご入学、誠にありがとうございます。心よりお祝いを申し上げます。依然として新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中ではありますが、皆様との連携・協力を大切にしながら、教育活動を続けていくことが一層大切であると考えております。

松が谷高校の制服を着て本校の校門をくぐった第四十二期生となる新入生319名の皆さん、入学おめでとうございます。これから始まる高校生活への大きな期待と、少しばかりの不安もあるかと思いますが、松が谷高校は皆さんを心から歓迎いたします。

本校は、昭和五十六年に普通科高等学校として開校し、平成二年度から普通科外国語コースを二学級設置し、平成二十八年度からは東京都の英語教育推進校に指定されるなど、特色ある教育課程のもと、基礎学力の定着とともに学力の伸長を図り、生徒の進路希望の実現に全力で取り組んでいる学校です。また広い校地と恵まれた施設や自然環境を活かし、部活動や学校行事が盛んで、元気あふれる生徒の笑顔が美しい、今年度創立四十二年目を迎える学校です。

本校の教育目標における「建学の精神」の一つに、「人を思いやり、ひとのために尽くす人」という言葉があります。こうした本校の目指す姿を踏まえて、これから新しい生活を始める皆さんに私から贈るメッセージとして、今私たちがなくしてはならない二つのことについてお話しします。ひとつは「温かいまなざし」、もうひとつは「気づく感性」です。

私たちはもうすぐAI（人工知能）に囲まれた生活を送ることになるでしょう。いやもう既になっています。そうした時代においてもなくしてはならない、AIには判別できないであろう「温かいまなざし」とは、例えば、いつくしみを持って生まれたばかりの赤ちゃんを見るときや、冬を越え、いつしか枝に小さなつぼみがついているのを見つけた時などの、私たちのまなざしです。そのようなまなざしを私たちはなくしてはならないのです。なぜなら、そのまなざしとなった時、私たちは心が温かい方向に動くことを認知できるからです。

もうひとつの「気づく感性」とは、見えないものを見ようとする、あるいは見過ごさないセンスといったものです。例えば、人の優しさ、温かさなどは見えないものです。それが見えないままではいけません。また、見えているものでも、気にも留めないで見過ごしてしまうこともあります。例えば、この地球上で6秒に一人、幼い子どもが5歳の誕生日を迎えずに亡くなっていることなどです。ここに気づく感性が必要です。そして、気づく感性をなくさないでいると、気づくとともに考えることが始まります。自ら気づいて考えると、考える分野が広がっていき、ただ知識をもつだけでなく思考の質を高めていくことができるようになります。さらに、この情報が溢れすぎている社会においては、情報が真実なのかフェイクなのかということに気づく感性もなくしてはならないのです。皆さんには、どうか時代の潮流に飲み込まれてあらぬ方向に流されることなく、「温かいまなざし」と「気づく感性」をなくさず、堂々と、粘り強く、またしなやかに生きて行ってほしいと思います。

心理学者の河合隼雄さんは著書の中で、「自立とは、独りで生きることではない。まして、孤立ではない。自立している人とは、適切な依存ができて、そのことをよく自覚している人なのだ」と言っています。みなさんもきっと今後の人生で人の恩を感じ、自分は誰かに支えられていると実感することがあるでしょう。その瞬間が自立できた自分に気づいた時かもしれません。三年後に高校を卒業した後は、家族と離れて一人で暮らす人も多いと思います。毎日のように顔を合わせていた高校時代の友人とも離れて、人のつながりも変わり自分と向き合う時間も多くなるでしょう。もちろん一人で頑張ることは大切ですが、あるときは適切に人に依存することも必要かもしれません。誠実に生きることを貫けば相手にも理解され、あなたをきっと支えてくれることにもつながると思うのです。恩を感じて生きていく、「あの人のおかげで私の今があるのです」と言える感謝の気持ちを持ち続けることのできる自立した若者を目指してください。

皆さんはこれから始まる高校生活の中で、学習や学校行事、部活動など学校生活を楽しく元気に過ごすために、この充実した生活を支えてくれている多くの人たちがいることに気づくと思います。家族、地域の方々、先生をはじめ学校で働く人たちなど、数えきれない人たちのお世話をいただくことで、実りある学校生活を過ごすことが出来るでしょう。さらに高校を卒業した後の、これから長い人生の中でも、多くの出会いがあります。その人たちから多くのことを学んでいきます。そのすべての人たちの小さな助けや親切、愛情の上に、私たちの生活があり自分があります。このことに謙虚に感謝し、生きていくことが大切だと思います。この感謝の気持ちを大切にしていきましょう。

今、私が皆さんにお話したメッセージ「温かいまなざし」と「気づく感性」を胸にした松が谷高校の新入生である皆さんが巻き起こす新しい風に期待しています。そのために皆さんには既に三月の入学準備会で私がお話しした三つのCを是非実践してください。三つのC、覚えていますか？ Challenge、Continue、Createでしたね。

改めて保護者の皆様には本校の教育方針を御理解いただきながら、学校との密接な連携をもとに教育活動を進めていきたいと願っています。私ども教職員一同は、お寄せいただいた大きな期待をしっかりと受け止め、全力で教育に当たる所存です。

それでは、新入生の皆さんが、ここ松が谷高校で高い志をもって、充実した高校生活を送り、大きく成長されることを祈念して式辞といたします

令和四年四月七日

東京都立松が谷高等学校長 博田 英明